



7月28日ホームサーブ株式会社と地域活性化に関する連携協定を締結いたしました

ごあいさつ

令和4年8月9日

8月4日未明から加賀地方を中心に降り続いた大雨は、観測史上最大の降水量を記録し、小松市や白山市、能美市などでは、河川の氾濫や浸水被害など大きな被害をもたらしました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

本市では、8月4日午前9時20分に災害対策本部を設置し、河川の水位や道路の状況、気象状況などの情報収集に努めてきました。市内東部を流れる高橋川の水位が避難判断水位を超えたことから、富奥防災コミュニティセンターを自主避難所として開設いたしました。

一時は手取川も氾濫危険水位を超え、緊張した状況が続きましたが、午後4時40分に手取川氾濫警戒情報が解除され、高橋川の水位も下がったことから、自主避難所も閉鎖いたしました。市内では、床下浸水や道路冠水などの被害も確認されましたが、幸いにも、人的な被害は確認されておりません。速やかな応急措置など災害対応にご協力いただきました建設業者、消防団員の皆様には深く感謝いたします。

猛暑と大雨、これらは地球温暖化の影響と考えられていますが、突然の気象の変化と「これまでに経験したことのない雨」も今回、身をもって感じた次第です。夏休み、お盆の時期を迎え、旅行や帰省などの計画されている方も多いことと思います。行く先々の気象予報や、キャンプなど屋外に出かける場合には、近くを流れる河川の情報にも注意していただければと思います。

7月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者が爆発的に増加しています。特に12歳未満のお子様や30代の親世代を中心とした現役世代での感染が目立ち、感染者数も過去最多を更新する日が増えていきます。

本市では、新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種について、7月21日から市役所での集団接種を行っておりますが、現在、3回目未接種の方も受けることができます。3回目を接種した場合の感染リスクは、2回接種と比較して3分の1程度に低減され、重症化予防の効果も確認されていますので、3回目未接種の方はこの機会に受けていただければと思います。

災害は、「忘れたころ」ではなく「毎年やってくる」が昨今の現状なのかもしれません。これから台風の時期にも入ります。これからも引き続き、緊張感を持って災害対策に取り組んでまいります。